

土木エンジニアリング科

Civil Engineering Course

学科説明・施設見学 (C-1, C-2, C-3, C-4)

劣化構造物診断体験 (C-5, C-9)

建設機械操縦体験 (C-7, C-11)

ドローン操作体験 (C-6, C-10)

地下水調査体験 (C-8, C-12)



YAMAGATA COLLEGE OF
INDUSTRY & TECHNOLOGY



土木E科ページ

YAMAGATA COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY

C-1/C-5/C-6(10:30~), C-2/C-7/C-8(11:30~)

C-3/C-9/C-10(13:15~), C-4/C-11/C-12(14:15~)

<http://www.yamagata-cit.ac.jp/department/doboku/>

土木エンジニアリング科では、「都市計画」「設計」「土質調査」「測量」「CAD」「施工管理」「構造物維持管理」等を幅広く学び、「県土を支え続ける建設業の中核的な担い手となる技術者」の育成を目標としています。

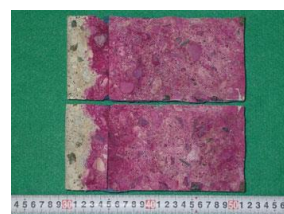
体験授業では、従来行ってきた【ドローン操作体験】、【建設機械体験】に加え、今年度は新たに【劣化構造物診断体験】、【地下水調査体験】を追加した4テーマで行います。土木に対する「発見」「幅広さ」「将来の可能性」を感じてください。

劣化構造物 診断体験

(C-5/C-9)

土木構造物の多くは、鉄筋とコンクリート (RC) で造られています。現在その多くで老朽化が進み、構造物の状態を診察し補修を行うことで、長寿命化を図ることが大変重要になっています。

今回は、実際に行われている RC 構造物を診察する各試験を体験しましょう。



建設現場において、作業効率を上げるための建設機械は欠かせません。

最近では、災害復旧工事など危険な作業現場における遠隔操作技術や人工衛星を活用し、熟練者でなくても操作できるように建設機械は進化しています。

今回は、各種建設機械の操縦を体験しましょう。

建設機械 操縦体験

(C-7/C-11)

ドローン 操作体験

(C-6/C-10)

現在の測量技術は、従来から行われているトータルステーションによる測量に加え、3Dスキャナーや、UAV(ドローン) (Unmanned Aerial Vehicle)を用いた ICT 測量へと、技術が進化しています。

今回は、最新機器である UAV (ドローン) を使った操作体験をしてみましょう。



「産技短水」ってご存知ですか？土木エンジニアリング科には、地下水調査の実習に使うことができる観測孔(井戸)があります。この観測孔を使って、地盤の透水試験、水位観測、地下水の pH・電気伝導度の確認ができます。

暑い夏、冷たい産技短水をくみ上げて、地下水に係る調査を体験してみませんか？

地下水 調査体験

(C-8/C-12)

各定員 (実施場所) 学科説明・施設見学 : 20名 (土木教室棟 CAD 室)

劣化構造物診断体験 : 5名 (土木実験実習棟) 建設機械操縦体験 : 5名 (土木実験実習棟)

ドローン操作体験 : 10名 (体育館)

地下水調査体験 : 5名 (土木実験実習棟)